

語呂合わせ

赤字は上の句、下の句それぞれの決まり字です。



上の句

- あきのたのかりおのいおのとまをあらみ
- はるすぎてなつきにけらししろたえの
- あしびきのやまどりのおのしだりおの
- たごのうらにうちいでてみればしろたえの
- おくやまにもみじふみわけなくしかの
- かささぎのわたせるはしにおくしもの
- あまのはらふりさけみればかすがなる
- わがいおはみやこのたつみしかぞすむ
- はなのいろはうつりにけりないたずらに
- これやこのゆくもかえるもわかれては
- わたのはらやそしまかけてこぎいでぬと
- あまつかぜくものかよいじふきとじよ
- つくばねのみねよりおつるみなのがわ
- みちのくのしのぶもじずりたれゆえに
- きみがためはるののいでてわかなつむ
- たちわかれいなばのやまのみねにおうる
- ちはやぶるかみよもきかずたつたがわ
- すみのえのきしによるなみよるさえや
- なにわがたみじかきあしのふしのまも
- わびぬればいまはたおなじなにわなる
- いまこんといいしばかりにながつきの
- ふくからにあきのくさきのしおるれば
- つきみればちちにもこそかなしけれ
- このたびはぬさもとりあえずたむけやま
- なにしおわばおうさかやまのさねかずら
- おぐらやまみねのもみじばこころあらば
- みかのほらわきてながるるいづみがわ
- やまざとはふゆぞさびしさまさりける
- こころあてにおらばやおらんはつしもの
- ありあけのつれなくみえしわかれより
- あさぼらけありあけのつきとみるまでに
- やまがわにかぜのかけたるしがらみは
- ひさかたのひかりのどけきはるのひに
- たれをかもしるひとにせんたかさごの
- ひとはいさこころもしらずふるさとは
- なつのよはまだよいながらあけぬるを
- しらつゆにかぜのふきしくあきののは
- わすらるるみをばおもわずちかいてし
- あさじうのおのしのはらしのぶれど
- しのぶれどいろにいでにけりわがこいは

下の句

- わがころもではつゆにぬれつつ
- ころもほすちようあまのかぐやま
- ながながしよをひとりかもねん
- ふじのたかねにゆきはふりつつ
- こえきくときぞあきはかなしき
- しろきをみればよぞふけにける
- みかさのやまにいでしつきかも
- よをうじやまとひとはゆうなり
- わがみよにふるながめせしまに
- しるもしらぬもおうさかのせき
- ひとにはつげよあまのつりぶね
- をとめのすがたしばしとどめん
- こいぞつもりてふちとなりぬる
- みだれそめにしわれならなくに
- わがころもでにゆきはふりつつ
- まつとしきかばいまかえりこん
- からくれないにみずくるとは
- ゆめのかよいじひとめよくらん
- あわでこのよをすぐしてよとや
- みをつくしてもあわんどぞおもう
- ありあけのつきをまちいでつるかな
- むべやまかぜをあらしというらん
- わがみひとつのあきにはあらねど
- もみじのにしきかみのまにまに
- ひとにしられでくるよしもがな
- いまひとたびのみゆきまたなん
- いつみきとてかこいしかるらん
- ひとめもくさもかれぬとおもえば
- おきまどわせるしらぎくのはな
- あかつきばかりうきものはなし
- よしののさとにふれるしらゆき
- ながれもあえぬもみじなりけり
- しずごころなくはなのちるらん
- まつもむかしのともならなくに
- はなぞむかしのかににおいける
- くものいづこにつきやどるらん
- つらぬきとめぬたまぞちりける
- ひとのいのちのおしくもあるかな
- あまりてなどかひとのこいしき
- ものやおもうとひとのとうまで

語呂合わせ

- 秋あきのわが衣ころもでは
春はる過ぎ衣ころも干す
足あしながなが
田子たごの富士ふじ
置おく声こゑ
傘かさは白しろ
天あまの実みか？
わが意い、世よを憂うれし
花はなの我わがが身みよ
これ知る
わたの原はらや、人ひとには告つげよ
天津あまつ乙女おとめ
突つく鯉こいぞ
道みち、乱みだれそう
君きみがためは、わが衣ころも手に
立ち待まちつと
千早ちはやから
炭すすの夢ゆめ
難波なにわが泡あわで
詫わびる、身みを尽つくくしても
今いま、子こ蟻あま
踏ふむべし
月つき、わが身み一つ
この紅葉もみぢ
何なにし、人ひとにし
小倉山おぐらやま今いま一度いちどの深雪ふかゆき
みかの原はらいつ見聞みききき？
山里やまざと、ひと目め
こころ青あお
ありや、赤あか！
朝あさぼらけ、有明ありあけの吉野よしの
山やまが流ながれる
久方ひさかたの静しず
誰待たれまちつも昔むかし
人は花はなぞ
懐なつくもの
しらつら
忘わすらるる人ひとの命いのち
朝あさ 十じゅうあまり
しもの

語呂合わせ

赤字は上の句、下の句それぞれの決まり字です。



上の句

- 41 こいすちようわがなはまだきたちにけり
- 42 ちぎりきなかたみにそでをしぼりつつ
- 43 あいみでののちのころにくらぶれば
- 44 あうことのたえてしなくばなかなかに
- 45 あわれともいうべきひとはおもおえで
- 46 ゆらのとをわたるふなびとかじをたえ
- 47 やえむぐらしげれるやどのさびしきに
- 48 かぜをいたみいわうつなみのおのれのみ
- 49 みかきもりえじのたくひのよるはもえ
- 50 きみがためおしからざりしいのちさえ
- 51 かくとだにえやはいぶきのさしもぐさ
- 52 あけぬればくるるものとはしりながら
- 53 なげきつつひとりぬるよのあくるまは
- 54 わすれじのゆくすえまではかたければ
- 55 たきのおとはたえてひさしくなりぬれど
- 56 あらざらんこのよのほかのおもいでに
- 57 めぐりあいてみしやそれともわかぬまに
- 58 ありまやまいなのささはらかぜふけば
- 59 やすらわでねなましものをさよふけて
- 60 おおえやまいくののみのちのとおければ
- 61 いにしえのならのみやこのやえざくら
- 62 よをこめてとりのそらねははかるとも
- 63 いまはただおもいたえなんとばかりを
- 64 あさぼらけうじのかわぎりたえだえに
- 65 うらみわびほさぬそでだにあるものを
- 66 もろともにあわれとおもえやまざくら
- 67 はるのよのゆめばかりなるたまくらに
- 68 こころにもあらでうきよにながらえば
- 69 あらしふくみむろのやまのもみじばは
- 70 さびしさにやどをたちいでてながむれば
- 71 ゆうさればかどたのいなばおとずれて
- 72 おとにきくたかしのはまのあだなみは
- 73 たかさごのおのえのさくらさきにけり
- 74 うかりけるひとをはつせのやまおろしよ
- 75 ちぎりおきしさせもがつゆをいのちにて
- 76 わたのほらこぎいでてみればひさかたの
- 77 せをはやみいわにせかるるたきがわの
- 78 あわじしまかようちどりのなくこえに
- 79 あきかぜにたなびくくものたえまより
- 80 ながからんころもしらずくるかみの

下の句

- ひとしれずこそおもいそめしか
- すえのまつやまなみこさじとは
- むかしはものをおもわざりけり
- ひとをのみをもうらみざらまし
- みのいたずらになりぬべきかな
- ゆくえもしらぬこいのみちかな
- ひとこそみえねあきはきにけり
- くだけてものをおもうころかな
- ひるはきえつつものをこそおもえ
- ながくもがなとおもいけるかな
- さしもしらじなもゆるおもいを
- なおうらめしきあさぼらけかな
- いかにひさしきものとかはしる
- きょうをかぎりのいのちもがな
- なこそながれてなおきこえけれ
- いまひとたびのおうこともがな
- くもがくれにしよわのつきかな
- いでそよひとをわすれやはする
- かたぶくまでのつきをみしかな
- まだふみもみずあまのはしだて
- きょうこのえににおいぬるかな
- よにおうさかのせきはゆるさじ
- ひとづてならでいうよしもがな
- あらわれわたるせぜのあじろぎ
- こいにくちなんなこそおしけれ
- はなよりほかにしるひともし
- かいなくたたんなこそおしけれ
- こいしかるべきよわのつきかな
- たつたのかわのにしきなりけり
- いづこもおなじあきのゆうぐれ
- あしのまろやにあきかぜぞふく
- かけじやそでのぬれもこそすれ
- とやまのかすみたたずもあらなん
- はげしかれとはいのらぬものを
- あわれことしのあきもいぬめり
- くもいにまごうおきつしらなみ
- われてもすえにあわんとぞおもう
- いくよねざめぬすまのせきもり
- もれいづるつきのかげのさやけさ
- みだれてけさはものをこそおもえ

語呂合わせ

- 来い、人知れず
- ちぎりきな末の松
- 愛、昔
- 会うこと、人を
- 哀れみの
- ゆらゆく
- 八重で人こそ見えねえ
- 風をくだけ
- 磨きも屋
- 君がため、尾長く
- 書くさ
- 開けな、ほうら
- 嘆きイカ
- 忘れじ今日を
- 滝の名こそ
- あらざらん今一度の会う
- メグ、雲隠れ
- 有馬、いーで
- 安かった
- 大江、まだ？
- 古の京子
- よをよに
- 今は一いつ
- 朝ぼらけ宇治現れる
- 裏の鯉に
- もろともに花よ
- 春の貝
- 心に小石
- 嵐たつ
- さあ、いずこ？
- 言う足
- 音をかける
- 鷹と山
- うっかりハゲ
- 千切り尾
- わたの原
- 背割れ
- 淡路島行くよ
- 秋風もれ出づる
- 長から、乱れて
- 哀れ
- 子蜘蛛

語呂合わせ

赤字は上の句、下の句それぞれの決まり字です。



上の句

- 81 ほととぎす なきつるかたを ながむれば
- 82 おもいわび さいてもいのちは あるものを
- 83 よのなかよ みちこそなけれ おもいいる
- 84 ながらえば またこのごろやし のばれん
- 85 よもすがら ものおもうころは あげやらで
- 86 なげけとて つきやはものを おもわする
- 87 むらさめの つゆもまだひぬ まきのはに
- 88 なにわえの あしのかりねの ひとよゆえ
- 89 たまのおよ たえなばたえね ながらえ
- 90 みせばやな おじまのあまの そでだにも
- 91 きりぎりす なくやしもよの さむしろに
- 92 わがそでは しおひにみえぬ おきのいしの
- 93 よのなかは つねにもがもな なぎさこぐ
- 94 みよしのの やまのあきかぜ さよふけて
- 95 おおけなく うきよのたみに おおうかな
- 96 はなさそう あらしのにわの ゆきならで
- 97 こぬひとを まつほのうらの ゆうなぎに
- 98 かぜそよぐ ならのおがわの ゆうぐれは
- 99 ひとつおし ひとつうらめし あじぎなく
- 100 ももしきや ふるきのきばの しのぶにも

下の句

- ただありあけの つきぞのこれる
- うきにたえぬは なみだなりけり
- やまのおくにも しかぞなくなる
- うしとみしよぞ いまはこいしき
- ねやのひまさえ つれなかりけり
- かちがおなる わがなみだかな
- きりたちのぼる あきのゆうぐれ
- みをつくしてや こいわたるべき
- しのぶることの よわりもぞする
- ぬれにぞぬれし いろはかわらず
- ころもかたしき ひとりかもねん
- ひとこそしらね かわくまもなし
- あまのおぶねの つなでかなしも
- ふるさとさむく ころもうつなり
- わがたつそまに すみぞめのそで
- ふりゆくものは わがみなりけり
- やくやもしおの みもこがれつつ
- みそぎぞなつの しるしなりける
- よをおもうゆえに ものおもうみは
- なおあまりある むかしなりけり

語呂合わせ

- ほととぎすすはタダ
- 重い浮き輪おもいうきわ
- 世の中よ、山の奥よなかの やまのおく
- ながら牛ながらうし
- 用もねえやようもねえや
- 喚け過去なげかこ
- ムキムキ
- 難波江の濤標なみわえのみおくしやあ
- 玉忍たましのぶ
- 見せぬ
- きりぎりすの衣は固いころもはかた
- 我が袖は人こそ知らねわがそではひとこそし
- 世の中は海女の尾よなかのあまのお
- 見よ、ふるさと
- 〇なまわかつた
- 花誘はなまてうふり
- 来ぬ人を焼くこ ひとを や
- かげそよぐ味かげそよぐあじ噌そ
- 人もよおひと
- 桃、なお余ももりあま

上下の決まり字から作った
 <語呂合わせ>だよ。句を頭から
 覚える人向きだね。
 他にも、アプリの<札流し>を
 使って、自分だけの語呂合わせを
 作ってみて！
 <取り札>の文字を横に読んだり、
 好きな単語を使ったり。楽しいよ！

